

**右京区基本計画策定委員会**  
**第3回 魅力ある都市環境のまちづくり部会 摘録**

日 時： 平成21年9月24日（木）  
午後6時30分～午後8時30分  
場 所： 右京区役所5階大会議室2  
出席者： 土井部会長・石川委員  
大西委員・新妻委員  
山下委員

### 生活道路・幹線道路

---

- 京都の特性を生かしたまちづくりが必要だ。また、生活道路はもっと利便性を持たすことが必要だろう。防災の面からも生活道路の整備は必要だ。
- 右京区は昔からの狭い生活道路が多いのに、観光シーズンなどにタクシーが迂回路として使い、人にも自転車にも危険だ。高齢化が進むと危険性が更に高まる。別に迂回路があれば、住宅街に入り込むタクシーの量が半減する。
- 狭い道にそぐわないような車が入りこんできていて邪魔になっている。
- 狭い道路上のわずかな隙間を見つけて停車し、更に道路を使いにくくしている。
- 右京は道路整備が遅れている。せめて幹線道路は整備してほしい。生活道路も確保できるようになる。観光シーズンの渋滞がひどい。福王子の交差点はシーズンオフでも渋滞していて一番のネックだ。
- 生活道路で歩行者や自転車が通るところは、車が遠慮するような環境をつくっていく。このことが出来れば凄く住みやすい。皆がそうすれば、エリア外から来た人にも言っていけるようになる。

### 公共交通

---

- なるべく車を使わなくてすむように公共交通を充実する方向に持って行くべきだ。右京区の観光は車で見て回るようなところではない。
- 市街地は歩くほうがいいが、京北は歩けない。地域の特性を生かした対応になる。
- 京北と水尾は、まちなかとは別に考える必要がある。そのエリアは車が足がわりになっている。

### 右京の魅力を発信

---

- 『豊かな自然と歴史文化のまちづくり部会』でも観光の話が出されていて、観光で来る人、住む人両方にとってやさしいまち、右京区の持っている魅力が輝いているまちがいいと感じた。「やさしい」を具体的にいうと「歩きやすさ」。『豊かな自然と歴史文化のまちづくり部会』で「歩く観光がいい」と話す人が何人もいた。安全に歩いて観光できるまちは、住んでいる人にとってもやさしい。前回バスルートの話が出されたが、どれに乗ったらどこにいけるのかという情報をもっとわかりやすいほうがいい。目的地に行きやすくして、地区の魅力が浮き上がった

てくるようにしたい。『豊かな自然と歴史文化のまちづくり部会』でそれぞれの地区に深い歴史があることを聞いたので、地区の魅力をもう一度掘り起こす方向に持っていったらいい。また、そういった情報を住んでいる人も知っていて、観光に来た人にも伝わるようにできるといい。情報の整理は都市環境のひとつだと感じた。

- 右京区は「京都市の縁側」というのは大事なポイントだ。
- 西京極運動公園について、スポーツ施設がこれだけ集中立地しているのは京都市内でここだけだ。それが右京区内にあるのは魅力の1つかなと思う。
- 西京極総合運動公園は本当にいい。
- 今回の基本計画では、いいところを褒めるということをやってはどうか。いいところを褒めることによりパートナーシップを築き、そのうえで問題点をどう解決するかということになるだろう。
- 右京の魅力でもあるが、右京は京都の中でも非常に豊かな自然とまちなかの暮らしと両方がある、「京都市の縁側」のような地域である。非常に多様性があるから、地域によって問題が違ってくる。それを一括りで語るのは非常に難しい。これからの話として、先程歩くことがいいという話が出ている。高齢者が一人で外を出歩けるまちは、子供連れのお母さん達も観光客も楽しく出歩くことができる。高齢者が一人で出歩けるような選択肢について、まちなかは選択肢が多くあるが、京北などでも最低1つか2つはつくれるといい。

## 公園の整備

---

- 公園整備は、まず公園機能として整備が必要だが、防災の面でも必要だ。生活道路が十分整備されていないと、幹線道路も防災の面で避難道路として必要になる。
- 公園で朝市をやったことがあるが、わずかな時間で完売した。
- 公園はお年寄りや子供が集まる広場でもあるし、防災面での避難地でもある。あるいは地産地消の朝市などにも活用できる。つくっている人の顔が見えるから、地元の野菜は安心して買える。
- 公園はコミュニケーションの場という話が出たが、砂場をつくと犬猫の糞害の問題が発生する。
- 夜はシートをかぶせるなど対策はとっているし、やり方はある。公園愛護協力会もあり、当番で清掃するなど公園の管理をしている。否定的な面ばかり見ていくとやってもしょうがないという話になるが、そうではなくて住民が協力しあっていい方向にもっていくというのがまちづくりの基本だ。
- 公園は防災の面からもなるべく広い場所を確保しないといけないし、防災ということであれば住民の理解も得やすい。
- 子供連れの母親達も広場的な、広い公園なら子供を安全に遊ばせられる。そういうものが大事だ。あまりいろいろな遊具は設置しなくてもいい。

## 自転車の活用・駐輪問題

---

- 駐輪場は難しい。地下でもいいから駅の近くに隣接して駐輪場があるというのが一番効率がいい

い。間に距離があると利用されなくなる。使い勝手が悪いと折角の駐輪場が生きてこないという問題が発生する。

- 確かに、西院駅は、北角のビルが整備されて駐輪場はこれで大丈夫と思ったが、あまり台数が置けなくて不法駐輪の問題がよけいひどくなった。

## 高齢者の暮らしをサポート

---

- 若い人は携帯で何でも情報を得ている。お年寄りはそのような情報化に取り残されている。補うものがあればいいが。
- 都市環境的な話でいうと、お年寄りに提供しなければいけないのは、情報から取り残されないような選択肢を提供するということになるかもしれない。